



2月を迎え、いよいよ春が近づいてきました。

新年早々、「能登半島地震」のニュースに明け暮れていましたが、季節は春に向かっていきます。先日は、「ひよこ」のみんなと節分の豆まきを行いました。



今年の干支：辰



みんなで「鬼は外 福は内」と鬼を追い払った後は、お菓子拾いをしました。最初は鬼を怖がっていた子ども達も、最後は鬼とも友達になって楽しみました。

今年は、遠征してきてくれた鬼の参加もあり、楽しい時間を過ごしました。

【センター講座Ⅰ】

岩田交流センターで行っている講座の目玉商品の一つに、「きっず食育チャレンジ」があります。以前は「親子食育講座」として行われていたものですが、岩田地区で耕作放棄地の管理や、環境保全をしている「岩田故郷の会」とタイアップして行っています。

季節に応じて、農作業や収穫体験などを行ったり、それらを使った調理体験など、親子で協力しながら、7回の講座を行いました。



10月には「サツマイモ収穫」を行いました。



「そば」の体験
8月の講座で種まきをしました。
11月にはそばの脱穀をしました。



12月には、お菓子の家のケーキづくりをしました。



1月の講座では、大根の収穫と「みそづくり」の体験を行いました。このほか、夏野菜の収穫、じゃがいもの収穫、やそれらの食材を使ってカレー作りなどを楽しみました。



最後にみんなで記念撮影をしました。

【センター講座Ⅱ】

交流センターでは、他のセンターにない特色のある講座を開講するように努力しています。

「きっず食育チャレンジ」のほかにも、面白い講座を実施しましたので、振り返ってみました。



「いちご苗植え講座」
地元のいちご農家の方に講師をお願いしています。10年以上続く人気講座です。



「篆刻（てんこく）講座」
篆刻は、篆書体という字体を石に刻むもので、書家が使う落款などに使用することもできます。彫るということに集中できる講座です。



人気の「和菓子講座」です。色付けなどは、個人個人で正解はありません。ひたすら楽しめる講座です。



「彩食健美講座」
地区社協と共催事業で行った講座です。高血圧予防のための食事について学びました。

＊＊地区の方が講師を行った講座＊＊



左：「新春寄せ植え講座」

右：「ラジオ作り講座」

夏休みを利用して、小中学生を対象にFMラジオを作る講座を行いました。



左：藍染め講座

左隣：紅花の収穫と染色講座

右：ラベンダースティック作り講座

※材料に使った藍、紅花、ラベンダーはすべて故郷の会の農園で栽培されたものです。



【災害募金活動について】

- 例年行っている「梅干し募金」は、当初「東日本大震災」の被害に対するあしなが募金として10年以上前から行ってきました。令和4年、5年に敷地川の決壊によって、豊岡地区に大きな被害があったため、磐田市の災害普及に募金しました。令和6年の「能登半島地震」には、1月からの「梅干し募金」を充てることにしました。また、被災地に、12月の防災訓練中止を受けて、未使用となっていた備蓄食料（全部で約300食）を提供しました。今年度の、「梅干し募金」は、磐田市に75,000円、赤十字（能登半島地震関係）に29,626円を募金することになりました。なお、能登半島地震の募金は継続しています。



〒438-0005
磐田市勾坂上615-1
磐田市岩田交流センター
TEL. 0538-38-0181
fax. 0538-38-2612

